

女子サッカー 飛躍への挑戦

清水 勇人
さいたま市長



猶本 光
三菱重工浦和レッズレディース



PROFILE

猶本 光選手

福岡県出身。三菱重工浦和レッズレディースに所属。サッカー日本女子代表として、2023年夏に開催されたサッカー女子ワールドカップに出場。コスタリカ戦で先制ゴールを決めた。パリオリンピックアジア2次予選の代表メンバーとしても活躍した。

ワールドカップを
振り返って

今年オリンピッククイヤー。サッカー日本女子代表の「なでしこジャパン」は、パリオリンピックへの出場が期待されています。三菱重工浦和レッズレディースの猶本光選手は、なでしこのメンバーとしてFIFA女子ワールドカップオーストラリア&ニュージーランド2023で活躍しました。猶本選手と清水市長が、女子サッカーへの期待などを語り合います。

女子サッカーの
聖地に

猶本選手がサッカーを始めたのは何きっかけだったのでしよう。

猶本選手は、初めてワールドカップの代表に選出され、コスタリカ戦で先制ゴールを挙げるなど、活躍されました。

猶本 これまでワールドカップといった大きな舞台に立ってプレーすることを目標にしてきました。代表に選ばれたときは、やっとスタートラインに立っているという思いでしたね。コスタリカ戦での先制点は、私のサッカー人生において価値のあるゴールになりました。

市長 貴重な先制点でしたね。大舞台で活躍され、地元の市長

猶本 兄がサッカーを始めて、小学生の頃は男子と一緒にサッカーをしていました。中学は女子サッカー部のある私立の学校に進みました。さいたま市で驚いたのは、公立の中学校で2校に、女子サッカー部があること。部活動として成り立つくらいサッカーをしている女の子がいるというのは、すごいことだと思います。

市長 女子サッカーが抱える大きな課題として、中学校に女子サッカー部がほとんどないことが挙げられるんです。さいた

ま市には、おっしゃるとおり公立中学校2校に、女子サッカー部がありますが、まだまだ少なく、男子と同じ部活で活動を続けたり、民間の女子サッカークラブに加入する生徒もいるものの、中学校でサッカーを辞めてしまう生徒が多いのが現状です。高校では女子サッカー部がある学校も多いため、中学生年代の競技人口をいかに維持するかが重要だと考えています。そこで、さいたま市では、小学生女子サッカークリニック「さいたまシティサッカー夢プロジェクト」や、女子中学生が気軽にサッカーを楽しむことができる場として、女子サッカー合同練習会「スマイルプロジェクト」、中学生年代の女子サッカー大会「SAITAMA



——新年の意気込みを教えてください。

夢や希望がかなう年に

「GIRLS MATCH」を展開し、主に小・中学生を対象とした女子サッカー活性化の取り組みを実施しています。さいたま市を「女子サッカーの聖地」にしたいですし、長期的には、新たなチームの誕生や、市にゆかりのある女子プロ選手、指導者や審判・スタッフなど、サッカーを始め、スポーツにかかわる女性の増加につながり、ひいては全国の女子サッカー・スポーツの発展にもつながっていくことを期待しています。



©URAWA REDS

猶本 WEリーグでの優勝を目指しています。1月には大宮アルディージャVENTUS（ベントス）と、市内のチーム同士でぶつかり合う試合が開催されます。ぜひ応援をお願いします。2月下旬には、オリンピックの最終予選があります。女子サッカーに引き続き注目してもらえよう、出場権を獲得したいです。
市長 オリンピックを始め、さまざまなイベントのある年です。これまで以上に市民の夢や希望がかなう、そんな年になればと思っています。

「サッカーのまち さいたま」は、女子サッカーを支援しています

JFAなでしこひろばスマイルプロジェクト



スマイルプロジェクトの詳細や参加申込みはこちら



みんなで楽しく！
中学女子サッカー合同練習会を開催！

月に1回程度、練習会や交流試合などを開催しています。浦和レッドダイヤモンズや大宮アルディージャのコーチから指導を受ける回もあります。初心者やひとりでの参加も大歓迎です！詳しくは、(一社)さいたまスポーツコミッション(☎762・8334、☎762・8474)、又はスポーツ政策室(☎829・1737、☎829・1996)へ。

さいたまシティサッカー夢プロジェクト

市内のサッカー少年団やサッカークラブなどに所属する方を中心に、サッカーに取り組む小学生女子の合同練習会を月1回程度開催しています。詳しくは、スポーツ振興課(☎829・1058、☎829・1996)へ。

SAITAMA GIRLS MATCH

市内のチームをはじめ、県内外から多数のチームが参加します。毎年、決勝戦は三菱重工浦和レッズレディースの本拠地である浦和駒場スタジアムで行われます。詳しくは、スポーツ振興課(☎829・1058、☎829・1996)へ。

女子サッカー 飛躍への挑戦

新春対談

清水 勇人
さいたま市長



乗松 瑠華
大宮アルディージャVENTUS



PROFILE

乗松 瑠華選手

埼玉県出身。大宮アルディージャVENTUSのキャプテン。三菱重工浦和レッズレディースを経て、2021年に現在のチームに移籍。サッカー日本女子代表の経験も持つ。

「さいたまスポーツシュレ」や、サッカーを核としたスポーツのまちづくりを進めています。

各チームとも協力しながら、

「さいたま市の印象を教えてください。」

「さいたま市の印象を教えてください。」

サッカーのまち さいたま

1月にWEリーグで市内のチーム同士がぶつかり合う「さいたまダービー」が予定されています。大宮アルディージャVENTUS(ベントス)のキャプテンである乗松瑠華選手と清水市長が、意気込みや期待、リーダー論に至るまで縦横に語り合います。

「さいたまスポーツシュレ」とは、ドイツ語で「学校」を意味する言葉です。国民のスポーツが盛んなドイツでは、複数の競技種目に対応できる大規模な滞在型総合スポーツ施設が各地に設置されています。さいたま市は都市機能や既存施設が充実していることから、市内のスポーツ施設や、宿泊・飲食・研修施設などをネットワーク化することで、スポーツを「する場」、「学ぶ場」を確保するとともに、企業・大学・団体などが持つ最新の知見や技術を活用するための「実証の場」として、新たなスポーツ産業の成長にもつなげていく取り組みです。

「さいたま市の印象を教えてください。」

「さいたま市の印象を教えてください。」

「さいたま市の印象を教えてください。」

選手と市民で清掃活動

「さいたま市の印象を教えてください。」

乗松選手がチームのリーダーとして意識していることはありますか。

仲間の能力を引き出せるか

市長 ありがとうございます。今後もサポーターや市民の方々との交流を通じて、さらにスポーツのまちとして盛り上がることを期待しています。



負けられない一戦

さいたまダービーへの思いを聞かせてください。

市長 自分自身のプレーや意識で一人ひとりの情熱に火を付けられるかというのは、すごく重要なことですね。立場は違いますが、市長として、職員一人ひとりの能力をどうやって引き出すかということに力を入れています。

乗松 市内の2チームがどちらもトップリーグにいる市は、ほとんどないじゃないですか。絶対に負けられない一戦というのは、まさにこういうものなんだと思います。自分の意地とプライドをかけて、サポーターの熱い思いも背負って、しっかり戦いたいです。

市長 まさにさいたま市だから実現する試合ですよ。熱い、素晴らしい試合を見せてもらうことが、次の世代のサッカーをしようという熱意につながっていくんじゃないかと期待しています。



写真提供：大宮アルディージャ

今月の表紙

2024年もサッカーのまちで女子サッカーを楽しもう!



PRESENT

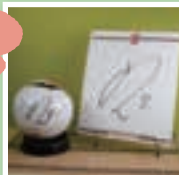
猶本 光 選手・乗松 瑠華 選手
サイン入り色紙、ミニサインボールを各5人にプレゼントします!

【応募資格】市内在住、在勤又は在学の方
【応募方法】はがき(1人1通のみ)で、郵便番号・住所、氏名(ふりがな)、電話番号、年齢(在勤・在学の方は勤務先又は学校の名称も)、市報さいたまの感想と充実させてほしい内容、希望するプレゼントの選手名を記載して、以下の送り先へ。
※電子申請・届出サービス(☎<https://apply.e-tumo.jp/city-saitama-u/>)でも申し込みます。
【送付先】〒330-9588 浦和区常盤6-4-4 広報課
※当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。なお、サイン色紙、ミニサインボールは選べません。

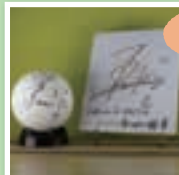


締切 1/19 (金)まで ※消印有効

猶本 光 選手



乗松 瑠華 選手



猶本 光 選手・乗松 瑠華 選手から
メッセージをいただきました!

女子サッカーを代表する2人の選手からいただいた新年のメッセージは、市公式YouTubeでご覧になれます。



WEリーグ 2023-24開催予定
「さいたまダービー」

三菱重工浦和レッズレディース VS 大宮アルディージャVENTUS

日時 1月7日(日) 14時キックオフ
会場 浦和駒場スタジアム(浦和区駒場)

市報さいたまの感想を「#市報さいたま」をつけてX(旧Twitter)、Instagramで投稿してください! 市ホームページやはがき(〒330-9588 浦和区常盤6-4-4 広報課)でもお待ちしております。